



世民律師事務所 SHIMIN LAW OFFICES

世民律師事務所パートナー律師の鄭于鈴律師が主賓として M&A ファイナンス業務革新フォーラムに参加

2017年11月17日、弊所のパートナー律師である鄭于鈴律師が交通銀行の招待を受け、深圳で開催された M&A ファイナンス業務についての革新フォーラム“合作共享、携手共贏”（「協同共有を図り、手を携えてウィンウィンを目指す」）に主賓として参加しました。

今回のフォーラムには、交通銀行本店投資銀行センター、交通銀行国際信託有限公司、交通銀行国際株式有限公司、比亞迪汽車（BYD）、華融証券、招商財富、星河ホールディングス、前海フィナンシャル・ホールディングス、O-FILM グループ、中国信息技术等 112 名のゲストが参加し、業務上の需要、業務提携における関心の高い話題について議論しました。また今回のフォーラム参加企業は 76 社で、そのうち 32 社が上場企業、残り 44 社が未上場企業となりました。

フォーラムは交通銀行企業部門（投資銀行部門）楊達君總經理の司会で進行し、交通銀行深圳支店胡剛副支店長、投資銀行センター總裁がそれぞれ交通銀行の M&A ファイナンスサービスの基礎的な部分と沿革を紹介。また今回のフォーラム開催成功への祝賀と期待を語りました。



鄭于鈴律師は 2 つの事例分析を切り口に、ゲストと最近の買収合併実務において注目すべき環境保護関連の問題をシェアしました。

政府管理層が環境保護を重要視するに伴い、新たな環境保護関連の法律法規が立て続けに公布されるのみならず、政策の執行レベルでも益々強力な手段を講じられるようになったこと、また企業買収においては、対象企業又はその重要な部品・パーツ、若しくは原材料の単一サプライヤーが環境保護重点監督・管理区域の重点監督・管理業界に該当する際は特に注意が必要であり、買収前に環境保護に対するリスク評価を怠った場合には重大なリスク出現の可能性があることについて注意を促しました。これには参加企業の中でも特に製造業にかかわる企業グループ、石油・ガス関連業界の投資機構の大きな関心と共感を呼びました。